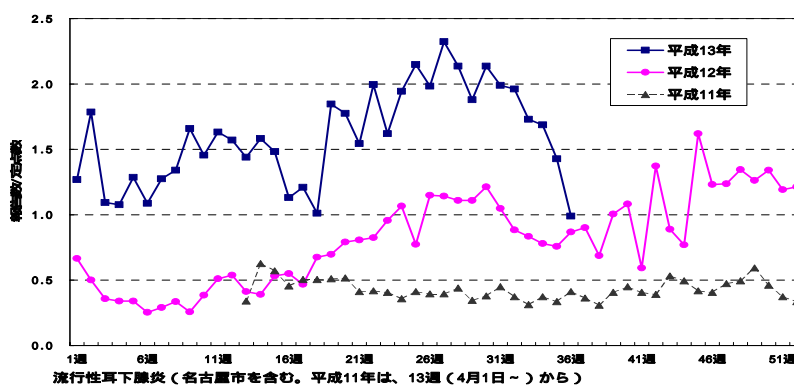
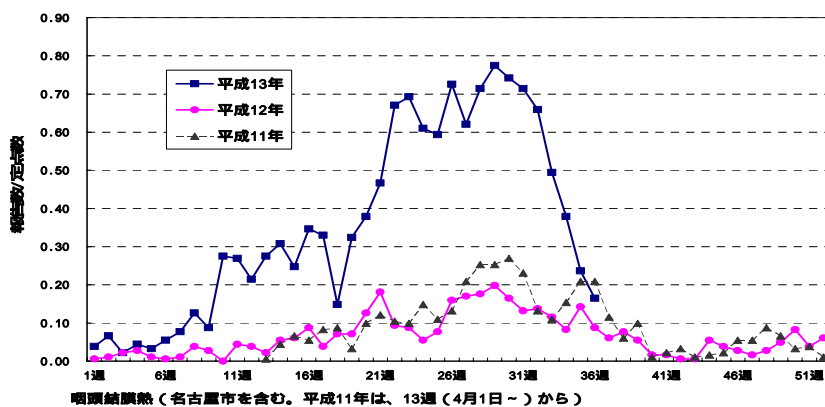


愛知県感染症情報

平成 13 年第 36 週（9 月第 1 週）

（コメント）

例年に比べて今年は報告数が多かった咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎は終息に向かっています。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 麻疹 2 例あり いずれも 2 歳女兒 ワクチン歴なし
（一宮市 あさのこどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌（018 3 歳女、0126 3 歳男、06 38 歳男）
インフルエンザがありました。
（尾西市 城後小児科）
- ・ 流行性角結膜炎 1 歳男児は咽頭結膜炎です。
（一宮市 ふなはし眼科）

- ・ 肺炎多い。紹介入院もあり、原因菌は不明。
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
 - ・ マイコプラズマ感染症、少し目立ちました。(姉、弟で肺炎例あり。弟(6歳)は入院。)その他これといった流行もなく静かな一週間でした。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ カンピロバクター腸炎(6歳男)あるも主な感染症はみられません。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ 30歳男、病原性大腸菌 0152 感染
(豊明市 豊明団地診療所)
 - ・ SSSS(ブドウ球菌性熱傷様症候群) 1歳男
多発性の癬*(セツ)(あせも(汗疹)のようでない)虫刺症より合併
1歳男・3歳女
(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
癬*(セツ):黄色ブドウ球菌により化膿したおでき
 - ・ 今週はムンプス、手足口病、突発性発疹がみられました。
(春日井市 かがわ北病院)
 - ・ 手足口病が目立ちます。
(小牧市 志水こどもクリニック)
 - ・ 感染症なし、川崎病2名。
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ カンピロバクター腸炎 11ヶ月女
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- 西三河地区
 - ・ カンピロバクター 14歳女
サルモネラ 08 病原性大腸菌 063 3歳男
カンピロバクター、病原性大腸菌 0143 9歳男
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
 - ・ サルモネラ SP 08 4歳女
カンピロバクター 4歳男
麻しん 1歳女
(豊田市 医療法人やふそ小児科)
 - ・ カンピロバクター 12歳女
これといった流行は見られません。
(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ 病原性大腸菌 06 5歳男、病原性大腸菌 0153、015 24歳男、病原性大腸菌 06 1歳女、腸炎ビブリオ 31歳男、サルモネラ 07 8歳男、サルモネラ 09 7歳女
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
- ・ サルモネラ菌 09 10ヶ月、サルモネラ菌 04 (1歳、10歳) 病原性大腸菌 0119 2歳 VT (-)、カンピロバクター 7歳、サルモネラ 08 11歳、病原性大腸菌 06 1歳 VT (-)
(幸田町 とみた小児科)
- ・ マイコプラズマ肺炎 5歳男
帯状疱疹 5歳男
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ 食中毒 (母と姉) サルモネラ 09 群検出
(安城市 医療法人鳥居医院)
- ・ サルモネラ 09 7歳女入院
(知立市 宮谷クリニック)
- ・ 感染症は少ないです。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 病原性大腸菌 0114 17歳女 VT (-)
(西尾市 山岸クリニック)
- 東三河地区
 - ・ サルモネラ 04 7歳女
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 0157 1歳 VT1・2 (-)
(豊橋市 野村小児科)
 - ・ 手足口病の園児 14人中 12人が同一施設です。
(蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院)
 - ・ MMR 接種の中学生にムンプスあり。
病原性大腸菌 029、01 の感染児あるも経過良好。
(田原町 かわせ小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

- 腸管出血性大腸菌感染症患者 1名
 - ・ 西尾保健所から報告の 42歳女。8/28 発病、9/3 初診、9/7 診定。菌型は、0157 VT2 (+)。

●細菌性赤痢患者 1 名

- ・ 岡崎保健所から報告の 28 歳男。8/30 発病、8/31 初診、9/4 診定。菌型は、ゾンネ I 相。タイ渡航歴あり。
- ・ 安城保健所から報告の 51 歳男。8/15 発病、8/16 初診、9/3 診定。菌型は、フレキシネル 2a。中国渡航歴あり。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

報告はありません。

◆第 34 週 (8 月 20 日～8 月 26 日) の 4 類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、過去 10 年間の同時期と比較して最大の数値が第 19 週から続いている。都道府県別では石川県 6.21、佐賀県 3.30、沖縄県 3.26 などの報告が多かった。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)